

目黒労協 2019労協ニュース・平和特集

No. 19-10 2019年9月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://home.g01.itscom.net/union/>

メール union@r05.itscom.net

原水爆禁止2019年世界大会in長崎 区内の仲間と一緒に参加してきました

8月7日から9日の三日間、原水爆禁止世界大会 in 長崎に、目黒区から計7名で参加してきました。土建目黒支部、医療生協、新婦人、平和委員会、目黒労協と、さまざまな団体の代表のみなさんです。国連での核兵器禁止条約の採択から2年、核大国が核の使用まで公言する危険な動きの一方で、逆流を押し返し条約の批准国は、22か国に広がっています(*50か国の批准で条約の発効に)。今回の大会参加者は、閉会総会に5千人、それも若い人たちがかなり多く、びっくりしました。多くの人たちが運動を次の世代に引き継ぐよう、努力していることの表れだと思います。自分たちも頑張らねば、と反省です。



長崎原爆資料館「未来を生きる子ら・像(ふりそでの少女像)の前で」

1日め(8月7日)は、朝5時に自宅を出発し羽田空港に集合。飛行機で福岡空港へ、そしてバスで長崎まで、かなりの長旅です。3時半からの開会式は、ほぼ満席状態でした。

2日め(8月8日)は分科会で、それぞれが選んだ会場へ。分科会終了後はみんなで東京平和委員会の交流会に参加し、稲嶺進・前名護市長のお話を聞くことができました。「オール沖縄」は、普天間飛行場へのオスプレイ配備撤回運動に沖縄県の全市町村長が賛同したことに由来するということ(建白書)、恥ずかしながら初めて知りました。

3日め(8月9日)は、74年前に長崎に原爆が投下された日です。長崎平和公園での平和式典に参加しました。田上・長崎市長の「平和宣言」、被爆者の方の「平和の誓い」では、日本政府に国連の核兵器禁止条約の批准を、はっきりと求めました。それに対し安倍首相は、何と無責任なあいさつ(核保有国と非保有国の橋渡しとなる)だったことか。本当にこの首相は、唯一の戦争被爆国の代表にふさわしいのか、改めて考えさせられました。

長崎の世界大会は、今回で2回めでした。やはり1回めでは感じられなかったことが、新たに吸収できたと思っています。来年は、ぜひ初めての仲間にも参加を訴えたいと思います。最後に、労協で取り組んだ「大会参加カンパ」に、多くの方から計72,240円のご厚意をいただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。(目黒労協/大会参加者)



爆心地近くの山里小学校、資料館も



長崎市民会館 4千人が参加の開会式

地域での平和の取り組み

「平和の石」のつとめ



8月6日、午前8時10分より区役所そばの「自然となかよし公園」で、目黒区の平和祈念行事のひとつである、「平和の石」のつとめが行われました。この「石」は、被爆した広島市役所正面玄関の階段の石で、広島市より目黒区に平和の使者として贈られたものです。併設してある碑は、当時、区民の募金で作られたものだそうです。元々は旧庁舎にあったものですが、2003年の庁舎移転に併せ、現在の場所に移設されました。

平和祈念のつどい



8月6日、午前9時30分から区民センターホールにて、目黒区主催の「平和記念のつどい」が行われ、参加者全員での献花、青木区長・宮沢区議会議長などが挨拶。青木区長は池袋、大津の自動車暴走事故から、京都アニメーションの事件にふれ、事件・事故とともに、戦争体験の風化を乗り越えようと挨拶しました。また、昨年に目黒区から広島に派遣された小・中学生の「平和特派員」が、感想文を発表しました。（目黒区職労/通信員）

目黒区平和都市宣言

かつて人びとは、戦禍に包まれ悲しい歴史のページをつくった。
時は移り、
今、平和の尊さをしみじみと思う。
青い空、緑の木々。
街には明るいあいさつがかわされ、
人びとの顔にほほえみが浮かぶ。
この幸せを再び失ってはならない。
わたくしたちは、地球のすべての人びととともに永遠の平和を築くよう努力する。
この誓いをこめて、目黒区は平和憲法を擁護し、核兵器のない
平和都市であることを宣言する。

昭和60年5月3日

目黒区

「平和の鐘」打鐘

8月6日、「平和祈念のつどい」のあと、区民センター公園にある「平和の鐘」の打鐘が行われました。人間国宝・香取正彦氏の作で、他に広島の平和公園とカナダのコロンビア大学にあるとのこと。また、同公園内には、長崎の若草町で被爆した柿の木、広島の逓信局で被爆したアオギリの2世の木があります。（目黒労協/事務局）



沖縄プロジェクト平和ツアー2019

やさしさもらった～東京土建目黒支部

東京土建目黒支部を中心に、近隣地域含め 24 人の仲間で、6 月 27 日～29 日の三日間、「沖縄プロジェクト平和ツアー2019」を行い、24 名の仲間で参加してきました。

初日の夜、地元食堂で、みんなで食事をした。少し騒がしいと思い、店の人に「お騒がせしてごめんなさい」と声を掛けたら、「大丈夫ですよ」と笑顔で言ってくれた。「料理を出すのが遅くごめんなさい」、こちらの方が恐縮した。「タコボールを皆さんで」と、サービスしてくれた。沖縄の人は本当におおらかで、優しい。

3 日目、辺野古新基地を海から視察、工事がこの 1 年間で一挙に進んでいることに、本当に驚いた。ここでも会場保安庁の人たちは穏やかだ。「平和丸」の船長さんが、お互いの立場を考えて運動をしています。地元で運動している人たちは、本当におおらかで優しい。そしてあきらめない、本当に素晴らしい活動家だ。

午後から美ら海水族館まで足を延ばした。優雅に泳ぐジンベイザメに島人が重なった。何となく寂しくなった。この国は、この優しさにつけ込んで、基地を作った。優しさにつけ込んで辺野古の海を埋め立てる。この国は本当に大丈夫だろうか。日本国民として恥ずかしい。

(土建目黒支部・通信員/目黒労協議長)



辺野古新基地建設阻止！テントの前で



目黒労協からは事務局長も参加

地域共闘を拡げ 目黒労協を大きくしよう！
活動方針の討議・決定

目黒労協 第68回定期大会

- ◆11月9日(土) 土建目黒会館/午後 1 時開会
- ◆代議員の確保をお願いします、大会の成功を！